

心のかよわせ方の三つのレベル — 認知の衰えを中心に —

講演者 大井 玄 東京大学名誉教授



さまざまな企画を地域の皆様にお届けしてきた研究所企画も12回目を迎えました。今回、淑徳大学社会福祉研究所では講演者に東京大学名誉教授 大井玄先生をお迎えします。臨床医の立場から終末期医療に取り組み、認知症に関する著作も数多くあります。広く皆様のご参加をお待ちしています。

◆大井先生プロフィール

1935年生まれ。東京大学医学部卒業。米国ペンシルバニア大学グラジュエート病院内科レジデント、デューク大学医学部血液科フェロー、東京都立衛生研究所副参事研究員などのあと、ハーバード大学公衆衛生大学院修了。同大学院労働医学科フェロー、東京大学医学部衛生学助教授、帝京大学公衆衛生学教授、東京

大学医学部成人保健学、同医学系大学院国際保健学教授。国立環境研究所所長、参与などを歴任した。社会医学の分野では、ハトに現れた鉛の地域汚染、水俣病の内科的現れ方、エイズの日本における将来予測、認知症老人の精神症状発現とケアなどの問題に関わってきた。現在は終末期医療に関わるかたわら、地域の認知症患者家族の相談や近隣住民の健康相談などにボランティアとして関わっている。著書に、終末期医療、終末期医療Ⅱ（弘文堂）、痴呆の哲学（弘文堂）、いのちをもてなす（みすず書房）、「痴呆老人」は何を見ているか（新潮社／新潮新書）などがある。

◆プログラム

講演

「認知能力の衰えた老人と心をかよわせるのは、その人の今住む世界を見出し、不安を除くことにある。」そう考える大井先生に、臨床医の立場から、心のかよわせ方の三つのレベルというテーマで、高齢者の方とその周囲の方とのコミュニケーションについてお話しいたします。

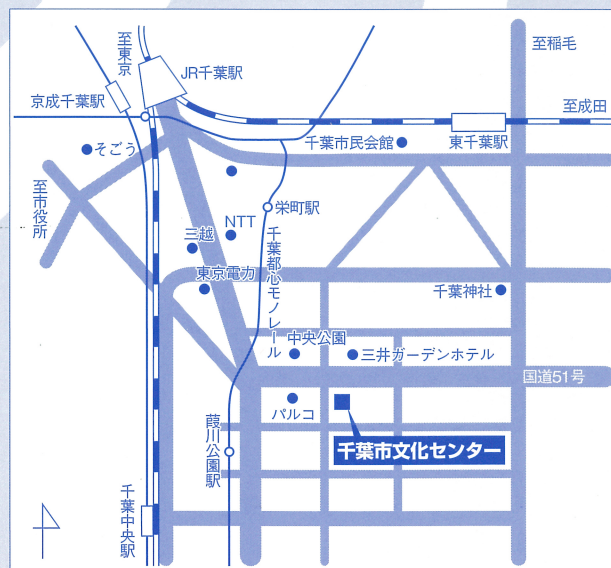
日時 平成20年7月6日（日）
13時～15時（会場 12時30分）

場所 千葉市文化センター3Fアートホール
JR「千葉」駅下車徒歩10分
京成「千葉中央」駅下車徒歩10分
千葉都市モノレール「葭川公園」駅下車徒歩3分
電話 043-224-8211

定員 400人

後援 千葉市保健局高齢障害部高齢福祉課

申込方法 6月28日（土）（必着）までに、官製ハガキに、住所、氏名、電話番号を明記して郵送してください（一枚のハガキに連名可）。折り返し入場券を発送いたします。



申込先・問合せ先 〒260-8701 千葉市中央区大巖寺町200 淑徳大学社会福祉研究所 総合福祉研究室
電話 火・木・金 043-265-7377（直通）